

令和 6 年度第 2 回「横浜市地域公共交通会議 運賃分科会」

日 時	令和 6 年 12 月 18 日(水) 11 時 30 分から 12 時 00 分まで
場 所	横浜市役所 18 階会議室 みなと 6・7
開催形態	公開(傍聴：0 名)
議 題	議題 1_鶴見区馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区におけるオンデマンド実証運行について 議題 2_四季めぐり号における回数券 (IC カード) の導入について
議 事	<p>(※本議事概要内では敬称略)</p> <p>【議題 1】 鶴見区馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区におけるオンデマンド実証運行について</p> <p>■公募市民 ご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に対し料金設定についてアンケートは実施したか。 ・まずはオンデマンド交通を知っていただき、なるべく多くの人に利用いただくようにすべきと考える。500 円は高いと考えるので、料金を下げてはどうか。 <p>◆川崎鶴見臨港バス 回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは実施していないが、500 円で進めたい旨を説明している。 ・「タクシーよりは安いから大きな負担ではない」、「駅に車で出るとコインパーキングを使うので、それに比べれば安い」という意見が多かった。 ・まずは 500 円で開始し、実証運行する中で利用者数が少なく、料金が高いという意見があれば、運賃を再検討したい。 <p>■公募市民 ご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の印象が大事では。実証運行期間は全額赤字補填できるので、最初に下げられるなら下げてほしい。同じ赤字でも、500 円で利用者が少ない赤字と、300 円で利用者が多い赤字では、後者の方が市民の立場ではありがたい。 <p>◆座長 ご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の委員の方の意見もお聞きしたい。 <p>■東京大学大学院 特任教授 ご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ 500 円で運行している他地区の利用状況も見ないと高い安いは言えない。本地区のタクシーの平均利用人員も確認したいところだが、今後、運賃の変更ができるのであれば、直感的には、まずは安めに 400 円から始めてもいいのではと考える。 <p>■国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官 ご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地区では高齢者に対する割引があるのに対し、本件は高齢者も 500 円。高齢者を救うという目的に対して、アプリの壁もあり、料金の壁もあるとは感じる。 <p>◆座長 ご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃が安いか高いかについては主観的な部分ではあるが、他地区と比べて若干高めの設定ではある。実証運行の 1 年目であり、本市の補助制度もあるので、運賃を例えば 400 円で始めることで、多くの方に利用いただき、利用状況を確認するという進め方もできる。川崎鶴見臨港バスさんの意見をお伺いしたい。

◆川崎鶴見臨港バス 回答

- ・本取組みの目的は、毎年数%ずつ運転士が減っている大変危機的な状況のなかで、運転士不足への対応というのがある。
- ・当地区に関しては、朝は10分間隔、日中は2~3本/時で運行している。獅子ヶ谷~鶴見駅間ではバスが380往復/日している。ただし今後、便数を減らさざるをなくなる。
- ・この状況の中で、当社として、バスを減便していくだけでいいのか、他にやれることはないかと考えている。川崎では連節バス導入したが、当地区でワゴン型のオンデマンド交通を運行することで、路線バスを維持していくという対応を進めている。
- ・運行してみないと収支率がどうなるのかわからないが、持続可能な交通を目指して取組みを進めることをご理解いただきたい。

◆座長 ご意見

- ・400円から始めるか、500円で始めるか決定しなければならない。事業者としての合意が欲しいがいかがか。

◆川崎鶴見臨港バス 回答

- ・お話しした背景から、事業者として500円で始めたい。

◆座長 ご意見

- ・では、500円で開始し、利用状況や地域からの声に応じて調整するという事で進めたいが皆様いかがか。

■東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ・本取組みでは高齢者割引カードの適用はないのか。

◆事務局 回答

- ・高齢者割引カードの適用は無い。ただし今後、敬老パスが地域交通に適用されれば、本取組みも対象となる。

■東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ・利用状況に応じた見直しの検討をすること、市も継続的に地域とコミュニケーションをとっていくのであれば、500円から始めることで意見はない。

◆座長 ご意見

- ・では、提案どおり進めていただくこととします。

【議題2】四季めぐり号における回数券（ICカード）の導入について

■東京大学大学院 特任教授 ご意見

- ・使い終わったICカードはどうなるのか。

◆事務局 回答

- ・車内販売するので、ドライバーに使い終わったカードは回収してもらい、新しいものと交換する。ICカードは再利用できる。

◆座長 ご意見

- ・では、提案どおり進めていただくこととします。